

平成30年度（2018年度）
菊池市議会報告会報告書



平成31年（2019年）2月

菊池市議会

より開かれた議会を目指す取り組みとして、市民の皆様のご意見をお聞きするとともに、議会活動の報告を行い、今後の議会活動に生かすために議会報告会を開催しました。

例年、この報告会は旧市町村ごとに開催しておりましたが、本年は市内の皆様すべてを対象に七城公民館1ヵ所のみで開催し、新たな取り組みとして各種団体との意見交換会を開催いたしました。

【議会報告会】



議会報告会では、まず議会運営委員会から議会のしくみについての報告を行い、次に本年6月及び9月議会定例会での各常任委員会の審査報告の後、質疑応答を行ないました。次に熊本地震からの復旧・復興特別委員会から報告を行い、その後市民の皆様から質疑応答及び意見交換を行いました。

- ・日 時：平成30年（2018年）11月19日（月）
- ・場 所：七城公民館 講堂
- ・参加者：73名（内アンケート提出者58名）

・当日の日程（進行 工藤圭一郎 議員）

1 開 会

2 あいさつ 柘原 賢一 議長

3 報 告

議会運営委員会 大賀 慶一 委員長

総務文教常任委員会 水上 隆光 委員長

福祉厚生常任委員会 猿渡美智子 委員長

経済建設常任委員会 坂本 道博 委員長

予算決算常任委員会 平 直樹 委員長

（質疑応答）

熊本地震からの復旧・復興特別委員会

山瀬 義也 委員長

（質疑応答）

4 その他の意見交換

5 閉 会 水上 彰澄 副議長

質疑応答

当日会場から出されたご質問、ご意見、ご要望を掲載します。

掲載については、出された項目を所管する常任委員会ごとに掲載しています。

報告会当日に回答した案件については掲載していません。

なお、市に対するご意見、ご要望については執行部の回答を掲載しています。

【総務文教常任委員会関係】

① 市から安全協会への助成金が約 24 万円である。しかし、この金額では運営できない。反則金が交付金できている。そうしたお金はカーブミラーやガードレールに使うべき。地域の命を守るために考えて欲しい。

(回答)

菊池市交通安全協会への補助金は、平成 25 年度までは年間約 25 万 5,000 円だったが、平成 26 年度から平成 30 年度までは約 24 万 2,000 円となっている。補助金額などについては、今後検討して行きたい。

また、交通安全施設の整備を行うために「交通安全対策特別交付金」があるが、これは全国で納付される交通違反金をもとに、交通事故発生件数・人口・道路延長により各自治体へ配分されるもので、本市へは毎年度、約 700 万円～800 万円が交付される。それを財源として、各区長等から要望がある

道路防護柵や道路反射鏡、道路区画線などの設置を各支所と協議しながら、優先順位をつけて整備している。

② 入札における、市内、市外の割合は。

(回答)

元請状況報告

年度	土木一式工事		建築一式工事		その他の工事	
	件数率	金額率	件数率	金額率	件数率	金額率
H29	100%	100%	100%	100%	90.8%	85.1%
H28	100%	100%	100%	100%	94.6%	98.4%
H27	100%	100%	92.0%	10.8%	91.7%	78.0%
H26	97.8%	81.6%	100%	100%	91.4%	97.1%
H25	100%	100%	100%	100%	87.1%	46.4%

※上記表は市内発注率となります。

③ 防災関係で、停電時の対応として手動ポンプがないと対応できないと思うが？

(回答)

市役所本庁舎は、災害時の拠点施設であるため停電時に備え、非常用発電機を設置している。そのため、上水道からの給水があれば飲料水の供給やトイレの使用は可能である。また、避難所に指定してある生涯学習センター(中央公民館)についても、非常用発電機を設置しており、上水道からの給水があれば飲料水の供給やトイレの使用は可能となる。なお、両施設には太陽光発電を活用した、被災者の安否確認業務、災害時連絡用の電話(携帯電話)、ラジオやテレビ、乳児飲料用熱源など、災害時に不可欠な電源を屋外に供給できるシステムを設置している。今後、七城・旭志・泗水支所についても、災害に備え非常用発電設備等の整備について、検討を行いたい。

【福祉厚生常任委員会関係】

① 保育園北側にあるブロック塀を1.6mから1.2mに切り下げたことで、本当に安全性は確保できたのか。ここを通るなどいっても通るのが子どもであり、

本当の危機管理になっていない。

(回答)

安全基準である 1.2m まで切断したため安全性は確保できている。また、ブロック塀は、通常は園児がとおらない場所にあり、鉄筋が施工された工事であることも確認しているが、今後、フェンス設置を予定しているため、該当箇所への対応も検討する。また、子どもの送迎時には親がきちんと付き添うことを徹底させることも重要である。

- ② つまごめ荘では入所待ちの方が多くいる状況である。私たちが求めているのは安全で安心して暮らせるまちである。現状で私たちは入れるのだろうか。この先を考えるよう要望する。また、問題は料金である。入所したくても入所できない状況がたくさん出てくると思う。

(回答)

3年ごとに策定する介護保険事業計画では、高齢者のニーズ調査を実施している。また、同時に熊本県が県内の施設待機者を調査しており、このようなデータや情報をもとに介護サービス量等に反映させている。常に状況を把握し、必要に応じて施設整備を計画していく。

介護保険サービスは、所得に応じ、利用者負担が高額になったときに、所得状況の段階ごとの上限額を超えた分は、高額介護サービス費の支給がある。また、市民税非課税世帯など、低所得の方が施設を利用した場合は、居住費や食費が軽減される。

- ③ 時代は 100 歳時代になってきている。10 年前に比べて老人クラブは半分に減った。老人クラブは健康づくりにつながるし、医療費も安くなると思う。老人クラブの有無による医療費の違いは。今は AI の時代である。議会も行政も将来を見据え話をしていただきたい。

(回答)

老人クラブの数については、10 年前は 103 クラブ、5,200 名であったが、現在では 61 クラブ、2,801 名に減少している。老人クラブ加入の有無による医療費の比較については、加入保険が複数（社保、社保扶養・国保・後期）となるため、一概に医療費の比較はできないが、地域での様々な活動を通し、健康意識が高く、健康づくりへの取り組みもされていると考えられる。老人クラブでは、健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、住みよい地域づくりを推進されており、① 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動、② 在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動、③ 安全・安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動といった活動目標を掲げ、様々な行事に取り組

んでいる。そのため、老人クラブの皆さんは、心身ともに健康であると伺われる。

今後も市は継続して老人クラブの拡充事業を支えていき、さらに、年代に応じた健康診査、歯科検診、がん検診への受診勧奨も含め、健康寿命の延伸への取り組みを進めていく。

- ④ ゴミの分別方法が地域で違っている。泗水地区だけ分別方法が違う。泗水では赤袋にトレーとかを入れることができない。泗水だけ 10 分類、他は 9 分類。カレンダーも地域ごとに 4 パターンある。なぜ統一できないのか。

(回答)

ごみの分別、収集及び処理については、泗水地区は合併前に広域の環境保全組合に加入しており、菊池、七城、旭志は環境保全組合に加入していなかったため、平成 17 年 3 月の市町村合併以前の、区域ごとの異なった体系により行っている。

菊池地区、七城地区及び旭志地区の可燃ごみは、エコ・ヴィレッジ旭で処理し、資源物及び不燃ごみは、民間施設で処理している。また、泗水地区の可燃ごみは、菊池環境保全組合が管理運営する東部清掃工場で処理し、資源物及び不燃・埋立ごみは、同組合環境美化センター及び民間施設で処理している。

今後は、菊池市内全域が環境保全組合に加入することが決定しており、新しい工場が 2021 年（平成 33 年）から稼動するため、現在の泗水地区の分別方法に合わせる予定となっている。

【経済建設常任委員会関係】

- ① 菊池溪谷の中央駐車場について、最近の話であるが、休みの日は開いているが有料となっており、その他の日は閉めてある。目的は何だったのか。何で入れないのか。また、トイレのひとつぐらい作るのが当たり前ではないか。

(回答)

菊池溪谷中央駐車場は、「菊池溪谷を美しくする保護管理協議会」が国有地を借り受け、繁忙期（7 月～8 月の夏休みシーズン、10 月～11 月の紅葉シーズン）の土曜日、日曜日、祝日のみシャトルバスを運行し、有料にて利用している。

繁忙期以外を閉鎖している理由は、熊本地震により中央駐車場から菊池溪谷へ抜ける遊歩道が通行禁止になっていることや熊本県道 45 号阿蘇公園菊池線には歩道が無い、徒歩での菊池溪谷への来谷が危険なことから、シャトル

バス運行日以外は中央駐車を閉鎖している。中央駐車場閉鎖時は、第1、第2駐車の利用をお願いしている。

トイレの設置については、中央駐車の土地の所有が国であり、本来は土場等として森林管理署が管理しているものを繁忙期に限り借り受けていることから市としては、トイレの設置は計画していない。

- ② 3年前から火葬場近くの養豚場は、糞尿の垂れ流し状態である。市役所農政課や保健所に伝えたところ、水質検査も行ってあるようだが結果は聞いていない。地下水の汚染につながることを危惧している。現状を見ていただき、どうにかしてほしい。

(回答)

この件については、昨年7月、農場主・県を交え尿処理方策等について指導・検討をしてきた。

また、随時パトロールも行い、監視を続けてきたところである。

特に平成29年度(11月14日)に実施した処理水の水質検査結果では、既存の浄化処理施設の機能が十分果たされていないことが確認されたため、平成30年8月下旬に、処理施設の一部改修として固液分離機の新設及び浄化槽の設備更新がなされた。

それを受けて、11月21日に再度水質検査を行い12月10日に検査結果が出たところである。昨年度の検査結果からすると、かなり改善されているが、一部規制値をクリアできていない項目もあった。

今後においては、浄化槽の改修後間もないことから、機械の調整期間等が必要なことや、県での検討結果も踏まえ、市として対応していきたいと考えている。

【補足】

規制値をクリアできなかった項目

- ・化学的酸素要求量(COD)
- ・窒素含有量

その他水素イオン濃度(pH)、浮遊物質(SS)、生物学的酸素要求量(BOD)、磷含有量は規制値内の結果であった。

規制値とは：日量50m³以上を排出する事業者において、特に河川へ放流する際の基準値であり、施肥目的での圃場への還元は、適用外と捉えている。

ただし、地元からの苦情を真摯に受け止め、今後も県を交えて農家指導にあたりたいと考えている。

- ③ これから電気自動車が増える。市民広場の設計時、観光客も電気自動車を利用して来られるため、それに対応するインフラ整備が必要と提言していたが対応していない。

商工観光課には話をしている。企画振興課から発注されているようだが、そのような話は聞いていないとのことだった。県内では、玉名市、山鹿市、天草市、人吉市では旅館に充電器が設置されている。今後のことも十分論議しないと人が寄らなくなることを危惧して情報提供していたが対応していない。

(回答)

今回の市民広場の再整備事業では、電気自動車の充電器設置については計画していないが、将来の車事情を考慮した時に必要性があることから市民広場の管理運営を行う指定管理者とも協議し、国の補助金等の活用を含めて今後検討していく。

- ④ 肥後銀行から中央通りへの抜ける道路がインターロッキングだがデコボコである。隈府の街なかは車道に色を塗っており、なぜ車道に色を塗るのか。道路行政を見直すべき。通学路等危険なところにお金を使うべき。

(回答)

肥後銀行から中央通りのインターロッキングについては、平成5年より3カ年において、水環境整備事業で整備を行ったものであり、完了から約25年経過し、耐用年数を迎えている状況で、平板石（インターロッキング）が割れるなど劣化しているため、補修を行っている状況である。

今後、現在の平板石（インターロッキング）を生かし、より強度の高い補修及び修繕を行っていく予定である。

隈府街なかの路面の塗装については、平成11年に策定した「菊池市中心市街地活性化基本計画」に基づいて、市街地の整備改善と商業等の活性化を進めており、まちの顔として、温泉街や御所通りをはじめとした地区を周辺景観に配慮し、中心市街地の道路を統一したイメージで整備することにより、回遊性を高め新旧の街並みの調和を図ろうということで、まちづくり総合支援事業において、景観に合わせた脱色アスファルト舗装（川砂利等に樹脂を混ぜた舗装）を行って来た。しかし、この舗装の劣化が激しく、通行に支障となったため、郵便局前の道路等については、通常のアスファルト舗装にし、歩車道との明確さや景観に合わせ舗装面に色を付けたものである。

一般的なカラー舗装については、道路をカラー化する理由としては、主にドライバーに対しての注意喚起で、自転車通行帯と車が走る区分を明確にしたり、危険箇所（交差点内など）を判りやすくする等を目的としている。交通安全の

ため、視覚的に分かりやすくするための補助的役割としての色分けである。

【熊本地震からの復旧・復興特別委員会関係】

- ① 地震は予測できないが、災害を減らす減災は我々にはできると思う。地域の防災訓練等により災害意識を持ってもらわなければ意味がない。笛を全戸配布し心筋梗塞、火災発生時などに利用しては。議会でもそうした観点で考えていただければ。

(回答)

市民の方に防災意識を持っていただくことは、大切なことである。

ご提言については、今のところ全戸に配布する予定はないが検討して行きたい。

- ② 熊本地震発生時に耐震工事がしていないため、避難したけど建物に入れないう状況があった。その後、こうした施設はどうなったのか。

(回答)

熊本地震発生時、西部市民センターは建物の耐震診断が未調査だったので、避難所として利用はできなかった。しかし、平成 30 年 2 月、耐震診断の結果が出て利用できることが分かった。

また、菊之池小学校体育館は耐震補強工事が平成 22 年度に終了していたので、避難所として利用ができた。

指定緊急避難場所及び指定避難場所については、菊池市防災マップに記載している。

【お詫びと訂正】

議会報告会時において、市民の方より「菊池市中央図書館のイスについて、近隣自治体に状況を調査したうえでの購入か」との質問に対し、総務文教常任委員長の水上隆光議員より「大津町図書館では 10 万円程度のイスが 30 脚入っている」との回答を行っておりましたが、正確には、現在のカタログ価格で 10 万円程度のイスでありました。不十分な説明であり、深くお詫び申し上げます。

平成30年度 菊池市議会報告会アンケート結果

【全体集計】			参加者 73 名			アンケート提出者 58 名 (回収率) 79%		
【年齢】	人数	(割合)	【居住地】	人数	(割合)	【開催情報入手方法】	人数	(割合)
10代～20代	0	0%	菊池	27	47%	広報きくち	22	26%
30代	2	3%	七城	13	22%	議会だより	21	25%
40代	2	3%	旭志	3	5%	市ホームページ	5	6%
50代	6	10%	泗水	12	21%	区長文書	16	19%
60代	26	45%	菊池市以外	0	0%	防災無線	2	2%
70代以上	19	33%	記載なし	3	5%	回覧	5	6%
記載なし	3	5%			0%	知人から	3	4%
計	58	100%	計	58	100%	議員から	9	11%
						その他	1	1%
						計	84	100%
						※複数回答あり		
【説明内容】	人数	(割合)	【説明時間】	人数	(割合)	【報告会評価】	人数	(割合)
わかりやすかった	22	38%	短かすぎた	16	28%	良かった	27	47%
わかりにくかった	11	19%	長すぎた	6	10%	良くなかった	7	12%
どちらともいえない	21	36%	ちょうどよかった	28	48%	どちらともいえない	21	36%
無回答	4	7%	無回答	8	14%	無回答	3	5%
計	58	100%	計	58	100%	計	58	100%
【開催範囲】	人数	(割合)	【今後の議会報告会の内容についてどのような方法が望ましいですか】※複数回答		人数	(割合)		
全市で1ヶ所	22	38%	これまでどおり議会からの報告の後、市民からの意見や要望を聞く		43	74%		
旧市町村単位	28	48%	少人数による意見交換会		8	14%		
小学校単位	4	7%	そのほかの方法		3	5%		
無回答	4	7%	無回答		4	7%		
計	58	100%	計		58	100%		

【意見・感想等】

アンケートの中から市議会へのご意見・ご感想を掲載します。

- ◆市民の質疑に対して回答が不十分、具体的に回答できるようにしてほしい。
- ◆図書館の椅子購入について財政難にもかかわらず高価なものを購入しているとの意見もある。一方、青少年のためにゆとりの空間を提供できるという意見もある。子育て世代に手厚い財政施策を望む。

- ◆椅子の問題はほとんどの市民がおかしいと思っている。何故こうなったのか。これをどう生かすのか。
- ◆地元業者を育てるため、できるだけ地元の業者からの購入を望む。後継者がいなくなり人口減となる。
- ◆外国人労働者受入れに対する整備体制を考えてほしい。
- ◆収入未済額が13億円もあるのに、議会としても市に強く申し入れし経過状況のチェックを要望する。
- ◆文化会館の問題もあるが、監視の目を光らせてほしい。
- ◆森林の活用、林研で頑張っている人もいる。新しい施設には木材の活用を望む。
- ◆議会及び議員の役割をわかっているのかと思う。
- ◆市の仕事は同じ業者が多いと思う。議会は市役所職員の把握をしているか。
- ◆次回は市の執行部と同時に意見をまじえたい。
- ◆現状を分析して将来を展望した行政に徹してほしい。
- ◆市民の税金を無駄使いしない。議会でチェックする部門を設け無駄使いを防ぐ。
- ◆団体を対象に住民の意見を聞く窓口の設置を願う。
- ◆菊池に住んでいても知らないこともたくさんあり勉強になった。色んな意見を聞くことの大切さを知った。
- ◆議員が何をされているかわからないという市民の声が多かった。菊池市のため頑張してほしい。

※当日、アンケートでいただいたご意見・感想等は全て記載しております。

【議会報告会 意見交換会】



新たな取り組みとして開催した意見交換会では、菊池青年会議所、J A菊池青壮年部、菊池市商工会青年部、菊池白龍會、菊池市青年団、菊池市P T A連絡協議会、菊池市消防団の7団体から参加していただきました。

6つの班に分かれ、班毎に設けられたテーマに沿ってワールドカフェ方式で意見交換を行い、交換会の終わりに話し合った内容を各班から発表していただきました。

- ・日 時：平成30年（2018年）11月21日（水）
- ・場 所：菊池市文化会館 小ホール
- ・参加者：47名（内アンケート提出者46名）
- ・当日の日程（進行 大賀慶一 議員）
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ 柘原 賢一 議長
 - 3 意見交換会
 - 1班 菊池市のよいところ、悪いところ、将来像
 - 2班 団体からの要望
 - 3班 投票率を上げるためには
 - 4班 菊池市議会の定数、報酬、費用弁償

- 5 班 菊池市のよいところ、悪いところ、将来像
- 6 班 団体からの要望
- 4 各班らの発表
- 5 各班からの発表に対する質疑
- 6 閉会 水上 彰澄 副議長

市民からのご意見等

1 班（菊池市のよいところ、悪いところ、将来像）

担当議員 福島英徳 後藤英夫 水上隆光

○菊池市のよいところ

- ・食、特に肉、米が良く、食事が美味しい。
- ・福祉分野が進んでいる。（幼稚園、保育園に入りやすい。中学校まで医療費が無料である）
- ・自然が豊かですばらしい。
- ・第三セクターで移動販売車をしている。
- ・温泉の質が良い。

○菊池市の悪いところ

- ・交通アクセスが悪い。
- ・スーパーコンパニオンのイメージが強く、宿泊するのに抵抗がある。
- ・城山公園の整備が遅れている。
- ・行政地区の色が強く（消防や区役が多い）移住に支障がある。
- ・移動販売などで高齢者が外に出ない。
- ・市役所の課ごとの連携がとれていない。

○菊池市の将来像

- ・土地の区画整理等を行い、若い世代が定住を考える魅力的な地域にする。
- ・若い世代ばかりフォーカスするのではなく、観光に訪れた高齢者の消費を促す。
- ・人口減少を食い止める。
- ・竜門ダムを活用したスポーツイベントを効果的に行う。
- ・由布院や黒川温泉を参考にし、テーマのポイントをしぼった街づくりを行う。
- ・地場産業の育成等、市が内から後押しするシステムづくり。
- ・さらに企業誘致を行う。
- ・世界をマーケットに輸出を行う。

2班（団体からの要望）

担当議員 猿渡美智子 荒木崇之

- どの団体も少子化や他自治体への転居により、会員数が減り、将来の存続が厳しい状況にあると危惧している。
 - ・ひとりがいくつもの団体に所属していて、ひとり何役もしている。
 - ・仕事に影響が出ている。（J A）
 - ・若い人が残っていない。（消防団）
 - ・団体の活動が仕事の足かせになっている時もある。
 - ・負担を減らしていくことが必要。（消防団）
 - ・会員減少で会費収入が減少しているが、値上げは難しい。（P T A）
- イベントが多いので精査を行ってほしい。
 - ・精査した上で、予算配分をしてほしい。
 - ・イベントが集中することがあるので、開催時期をずらした方がよい。
- 旧4市町村が、もっとまとまってほしい。
 - ・他地域のイベントにも参加してほしい。
 - ・市民全体でできる祭りに。
 - ・市民の輪を広げていきたい。

3班（投票率を上げるためには）

担当議員 坂本道博 工藤圭一郎 水上彰澄

- 日頃からの取り組み
 - ・議員との意見交換などを行う。
 - ・議員を身近に感じられるような取り組みを行う。
 - ・議員とのコミュニケーションが多くなればよいと思う。
 - ・小さい時からの教育が必要。
 - ・高校などに議員が出向いて伝える。
 - ・青空議会などを開催し、議員が身近に感じる取り組みを行う。
- 投票日前における取り組み
 - ・選挙をお祭りみたいに盛り上げていく。
 - ・若い人の興味をあげる。若い議員が選挙に出られるための取り組み（供託金を下げるなど）
 - ・公示（告示）前のザワザワが少ない。
 - ・選挙のやり方で、討論会などを行いもり上げる。
- 投票の仕方等について
 - ・ネット投票などを考えてほしい。

- ・防災メールみたいに投票できれば。
- ・コンビニで24時間投票。
- ・学校などに期日前投票所をつくる。
- ・区ごとに投票所をつくる。
- ・投票所の雰囲気を和らげるなど、行きやすい環境づくりを。
- ・投票所について、どこでも投票できないか。
- ・ネット投票と公民館などでの投票を併用。
- ・選挙に行ったら商品券など。

4班（菊池市議会の定数、報酬、費用弁償）

担当議員 平直樹 東奈津子 二ノ文伸元

① 議員定数について

○分からない 10人

- ・議員の仕事がどんなものか分からないから判断がつかない
- ・多くはない
- ・議員本人はどう考えてるのか (4)

○現状のまま問題なし 8人

- ・ただし将来的には減らして
- ・不正がなければ現状でOK
- ・議員数が減ったら一人の議員の負担が増えその分市民の声が届かない

○減らすべき 5人

- ・他の自治体ではどうなの？
- ・16人くらい
- ・あと1~2減 (2)
- ・5人で良い。少ない方が顔と考えがよく分かる
- ・土台がしっかり作れたら少数精鋭でも良い

○増やすべき 0人

② 報酬について (339,000円で説明)

○安い 17人

- ・報酬だけで専念できる位あった方が良い
- ・議員を減らして報酬を上げる
- ・誰にでもできる事じゃない。あと2~3万円UP
- ・自分だったらしたくない。せめて50万円
- ・もうちょっとあげてもOK 50万円でもOK
- ・倍でも良い。緊張感が出る。

- ・報酬が高くなり、議員のなり手が増えて投票率が上がるのが、市が良くなるのでは。
- ・(議員を5人にした方) 70万円でも良い
- ・出来高制 (2)
- 分からない 3人
 - ・もっと活動が見える仕組みがないと分からない
 - ・あまり安くすると市民のためにならない
 - ・議員としての仕事の時間はどれくらいなのか
- 高い 1人
 - ・個人によって違う。議会で寝てたら許せない。
- そのまま 0人
- ③ 費用弁償について (1回2,500円と説明)
 - このままOK 8人
 - ・現状の報酬が安いのでこれでまかなう。
 - 安い 7人
 - ・もっとあっていいのではないか (2)
 - ・4,000円くらい
 - わからない 4人
 - ・時給制がいいのでは
 - ・時間に差がないのはどうかと思う
 - ・報酬がありながら貰うのは何のための費用か分からない
 - ・根拠が分からない
 - 不要 1人
 - ・分けずに報酬に含めば良い。

その他の意見

- ・菊池の議員のイメージが良くない。子どもたちが憧れる様な議員になって欲しい
- ・市民全員が潤っていれば、報酬の高い低いの議論にはならない。
- ・議員にはこんなの(報酬の議論)関係なく頑張ってもらいたい。
- ・議員の報酬について初めて知った。
- ・定数を減らすと偏った意見になるので、定数については妥当。
- ・報酬を上げるには定数減も仕方ないかも。
- ・良い温泉があるのでもっとPRを。
- ・菊池は人口減、合志は増。隣でこんなにも違うのかと思った。このままでは子どもは減る一方で危機感を持った。
- ・ワールドカフェ方式をするのであれば実際に飲食できる場所が良かった。

- ・(自分たち世代が)遊ぶところが少ない。このような声が拾えれば議員を増やしてもいいのでは。
- ・議会のことをよく知らなかった。定数についても今まで考えてなかったの今回参加してよかった。定数についてはあまり増えても収集がつかないのではないか。
- ・各団体の人員が少なくなってきた、そのしわ寄せが市職員にきているのが現状。議員からも各団体の紹介をしてほしい。

5班(菊池市のよいところ、悪いところ、将来像)

担当議員 緒方哲郎 城典臣 山瀬義也

○菊池市のよいところ

- ・歴史的にしっかりしている。
- ・自然が豊かである。(菊池溪谷・水等)
- ・農産物が豊かで美味しい。
- ・高校が3校もある
- ・交通渋滞がない。
- ・医療費の無償化。
- ・いろいろなイベントが行われている。

○菊池市の悪いところ

- ・商業施設が少ない。(遠方に行かないと子どもたちと遊べない)
- ・中心になるものがなく、アピールする数が多いために、外への発信が下手である。
- ・企業が少ないために、若者が働く場がない。
- ・市全体に活気がない。
- ・住民税が高い。
- ・交通アクセスが分かりにくく、交通の便が悪い。

○菊池市の将来像

- ・大きな商業施設の誘致により、人口増を図る。
- ・温泉、竜門ダムを利用して、人を呼び込む。(ダムの周辺に子どもの遊び場などをつくる)
- ・中央通りなどの商店街に映画館などが入る大きな商業施設をつくる。
- ・交通の利便性を考えて、住みやすいまちづくり。(菊電の復活)

※意見交換会を終えての感想としては、菊池市の良いところにおいて、自然と農産物が豊かであるとの意見が多く、医療費の無償化の意見も多かった。悪いところにおいては、商業施設が少ないという意見が多く聞かれた。関連

して、子どもと遊ぶ場所がないなどの意見もあった。また、良いところで、いろいろなイベントが行われているという意見があった反面、中心になるものがなく、アピールが下手だという反対の意見もあった。

将来像においては、いろいろな意見を参考にさせていただき、人口増を図りながら、人を呼び込めるような安心・安全で住みやすい街づくりをしていくべきだと考える。

6 班（団体からの要望）

担当議員 田中教之 泉田栄一郎 木下雄二

○各種団体からの共通の要望

- ・ 人員や会員の確保。（報酬を含めた資金の確保も）
- ・ 若い人が集まるまちづくり。（人口減少対策）
- ・ イベントが多く、一部のひとに偏るので、見直しや精査をしてほしい。
- ・ 地域活性化に関わる方への家族の理解が得られるための環境づくり。
→ 平日の夜や休日に会議や練習・イベントに参加するため家族の理解が得られない現状。
→ 税金の減免やポイント付与など何か特典を。

○菊池白龍會

- ・ 旧菊池市以外の地域からの参加を増やしてほしい。
- ・ 規模が大きくなっているので、祭りの安全確保に力を入れてほしい。

○菊池市 P T A 連絡協議会

- ・ 通学路の安全確保。
- ・ 子供たちが多く集まる政策。

○J A 菊池青壮年部

- ・ 市と協働で農産品のブランド開発と PR を。

○菊池市青年団

- ・ 旧泗水町以外の方へのイベント参加を呼びかけてほしい。

○菊池市商工会青年部

- ・ 後継者不足対策。

○菊池市消防団

- ・ 団員が勤めている会社等へ消防団の活動を理解してほしい。

○その他

- ・ 街灯を増やしてほしい。
- ・ 地域おこし協力隊の有効活用。
- ・ 菊池高校に特徴あるコースをつくってほしい。

平成30年度 菊池市議会報告会（意見交換会）アンケート結果

【全体集計】			参加者			アンケート提出者			
			47 名			46 名			
						(回収率) 98%			
【年齢】	人数	(割合)	【居住地】	人数	(割合)	【参加者内訳】	人数	(割合)	
10代～20代	9	20%	菊池	25	54%	菊池青年会議所	7	15%	
30代	18	39%	七城	4	9%	JA菊池青壮年部	5	11%	
40代	18	39%	旭志	5	11%	菊池市商工会青年部	8	17%	
50代	1	2%	泗水	8	17%	菊池白龍會	12	26%	
60代		0%	菊池市以外	3	7%	菊池市青年団	6	13%	
70代以上		0%	記載なし	1	2%	菊池市PTA連絡協議会	3	6%	
記載なし		0%			0%	菊池市消防団	6	13%	
計	46	100%	計	46	100%	計	47	100%	
【市議会への関心】	人数	(割合)				【意見交換会評価】	人数	(割合)	
非常にある	10	22%				大いに評価	16	35%	
少しある	27	59%				ある程度評価	25	54%	
あまりない	8	17%				あまり評価しない	1	2%	
まったくない	1	2%				まったく評価しない	0	0%	
無回答		0%				わからない	2	4%	
計	46	100%				無回答	2	4%	
							計	46	100%
【今後の議会意見交換会への参加について、どのような考えか】							人数	(割合)	
参加したい							36	78%	
参加したくない							5	11%	
そのほか(参加したいと参加したくないの真ん中にチェック)							2	4%	
無回答							3	7%	
計							46	100%	

【意見・感想等】

アンケートの中から市議会へのご意見・ご感想を掲載します。

- ◆議員の方の仕事ぶりは大変と思いますが、個人の考えや思いの中で、ある特定への忖度は・・・
- ◆いつも市のためにありがとうございます。もっと議員さん方の活動を周りや子どもたちに伝えていきます。

- ◆かっちりした感じも良いけどもっと楽な感じでの意見交換会も良いと思う。
小規模でも良いのでこのような機会がもっとあって良いと思う。
- ◆とにかく人口が増加しないことには、何も始まらない。各種団体から1名ずつ議員を募ればもっと盛り上がるのではないか？よろしくお願いします。
- ◆このような機会を保育園の保護者など 20代・30代の方々と増やしてはどうか。合志、菊陽、大津に負けない活気ある街にして欲しい。それについて色々な方を巻き込んでほしい。
- ◆議員が何を考え行動しているか、また結果はどうなるのか教えて欲しい。
- ◆この意見交換会も議員は費用弁償されるのか？（費用弁償は支給されていません）
- ◆議会だよりは希望者だけでよいと思います。ワールドカフェのようなところに費用を使ったほうが効果があるのではないかと思います。
- ◆空き家対策をして欲しい。
- ◆今回の意見を必ず議会に反映してください。
- ◆市民の意見の代弁をよろしく。
- ◆菊池市のためにありがとうございます。
- ◆皆で菊池が盛り上がるようがんばりましょう。
- ◆逆に議員の方々が各団体に対してどう思われたか機会があれば伺いたい。

※当日、アンケートでいただいたご意見・感想等は全て記載しております。

○来年度も開催する予定でありますので、議会に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

※市民の皆様のご協力ありがとうございました。



発行 菊池市議会

発行日 平成31年2月1日

電話 0968-25-2325